

ふじみサラダボール子育て情報

「発達に寄り添う」
令和6年10月23日号
板橋富士見幼稚園



こだわりとねばり

幼児の成長は、日々発展的です。「したい」「行きたい」「食べたい」と、常に視野の中に入ってくる出来事に対して好奇心満載です。そして自分の思いが果たせないときは、すねたり泣きわめいたり、自己の思いを訴えてきます。その度に親は、困りごととして誰もが悩まれますよね。こうした日々が3歳を過ぎる頃まで、もうしばらく続きます。

でも、このような姿は、発達的に見ると脳がしっかりと知的に成長していることを意味しています。こだわりがあるということは、自我が芽生えはじめている表れであり、自然な自己の欲求の高まりでもあるのです。

子どもの知的な成長は、親であれば誰もが願うことです。時にはこだわりを認め、時間を少しばかり許容してあげてみてください。その間子どもは多様な思考を巡らせ、粘り、考え、没頭し、達成感を味わいます。そうした充実感から幸せを感じる心を手に入れていくことができるのです。没頭する時間は、考える力を持続させる源泉です。

今が一番、親子の絆が強い時期です。しかたがないと思いつつ、時に子どもの欲求を許していくことは、親子間の心の絆を強く結びつけていくことにも繋がっていくことでしょう。

【志村第一小学校へ】



先日年長さんが志村第一小学校へ行き、1年生と交流会を行いました。
お兄さんお姉さんが上手に物語の読み聞かせをしてくれて、憧れの気持ちが育ちました。